



今月のテーマ  
「あいさつ」

読者のひろばは皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

挨拶したら人違い

私は強度の近視で小学生から分厚い眼鏡をかけていた。母はできる事なら掛けないでと言いつつ(オナゴぶりがさがる)、父は見えないで挨拶を欠く事があれば失礼だと言う。眼鏡をかけても失敗はいっぱい。前を行

く人はご町内の1人暮らしのおばあちゃんと思い、追い越しながら「ご挨拶」したら人違いだった。失礼を詫びながら一緒の方向に歩いた。別れるとき「声をかけてくれてありがとう。嬉しかった」と言われた。人違いの挨拶から長いつきあいになった人もある。(森岡淳子さん)

心に残る挨拶

遠方から遊びに来る客が弘前公園に散歩に行き帰って来た際、「青森の人たちはすれちがう時大きな声で必ずあいさつするので礼儀正しいのね」と話していた事を思い出します。私も弘前へ帰って来たころよく公園に散歩に行き同じ事を感じました。近所で会う人にあいさつされ、つい大きな声でこたえたあとで、「あれ、今の人誰だったろう」と考える

事があるが悪い気持にはなりません。子供たちから「おばさんおはよう」と言われ、あいさつされることはうれしいものです。

あいさつにはいろいろな言葉があるが人の声の響きが心に残ります。人の出会いも挨拶から始まります。(宮村孝子さん)

挨拶を交わす

ことばは心の脈拍であると言われるのは文芸評論家の亀井勝一郎さんですが、われわれは言葉なくしては1日なりとも生活できず人々と交わすことが出来ないのです。挨拶にも多種多様あります。

この間、背後から「こんにちは」と小学生の男の子が挨拶をしてくれましたが、感動しました。朝のすがすがしさを感じ好感を抱きました。

私も子供に負けなよう挨拶を交わし、和気あいあいとした日々を過ごしたいです。(岡田喜光さん)

あいさつは顔

最近、あいさつ運動がさかんに行われています。以前は知らない人には声を掛けてはいけませんと言われてきましたが、根からの無口な人は「おはよう」も言わないでしょう…。

大人でも子供でもおはようさよならと口に出さなくても顔に笑みを出す事であいさつになるのではないのでしょうか。その反面こわもての人にはとっつきにくいのでは。顔の表情はいろいろな事の発進とスタートだと思います。誰とでもあいさつは必要です。ニコッと微笑むだけでいいんです。あいさつで1日を楽しく

過ごせたらいいですね。(古山和子さん)

学んだ挨拶

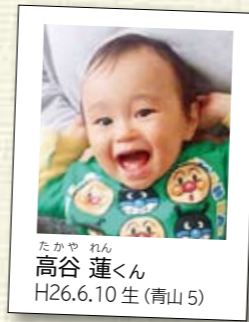
向上心があった学生時代、数々のアルバイトをしてきました。小遣い欲しさもあったが、印象に残っているのは、T家具店での「挨拶と気配りな対応」でした。一つ目はお客から店員を呼ぶ「すみません」という声をなくするよう常に目配りすること。二つ目は家具の名前を暗記し、お客様の探しているイメージに対して説明できるようにすること。なぜならば、「アルバイトとっていないから」と言われたこと。社会人になって生かされ「挨拶」にも自己アピール含め言葉の掛け合いだけではないことを学びました。(P.N. 榊夢さん)

教えて! たか丸くん  
クイズの答え

答えは、②の洗濯物をまとめて洗うだよ。そうすることで、洗濯機を使う回数が減り、節電になるよ!ほかに、テレビを消すときは主電源を切ったり、ドライヤーの使用時間を短くするなど、家庭でできる取り組みがいろいろあるよ。まずは自分のできる小さなことから始めて、みんなで地球温暖化を防ごう!



※質問は8ページ、関連記事は10ページに掲載。



7月生まれ  
写真募集中!

1歳の記念に写真を掲載してみませんか。

- ★対象 平成27年7月に1歳の誕生日を迎える市内在住の子
- ★掲載内容 子どもの写真・氏名(ふりがな)・生年月日・住所(町名まで)
- ★応募方法 ①子どもの写真1枚(プリント・データのどちらか)に、②子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・性別、住所、保護者氏名、電話番号を記入したものを添えて、6月10日(必着)までに、郵送、持参またはEメールでご応募ください。
- ★問い合わせ・応募先 広聴広報課(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所3階、窓口308、☎35-1194、Eメール kouhou@city.hirosaki.lg.jp)